

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	ジェンダーロン	(フリガナ)	
授業科目名	ジェンダー論①②	担当教員名	小川 祐喜子
英文授業科目名	Gender Studies		
基準年次(開講期)	1年(後期)	履修形態	選択
曜日/ 時限/ 講義室	火 4 限/ 池袋, 木 3 限/ 浅草		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	セクシャリティ 犯罪報道 恋愛 結婚		
授業概要・目的	本講義では、ジェンダーに関する概念を理解し、日本社会におけるジェンダーを理解することを目的とする。マス・メディア報道とジェンダー、恋愛とジェンダーの社会事象を手がかりに、ジェンダーの視点から社会をみていく。		
到達度評価の評価項目	①ジェンダーおよびジェンダーに関する概念、用語を理解する。 ②ジェンダーに関する概念、理論を理解し、社会を見ていく能力を身につけていくこと。		
授 業 計 画			
第 1 回	ジェンダーとは ジェンダーをみる方法		
第 2 回	ジェンダーとセクシュアリティ① 〈女らしさ〉と〈男らしさ〉を問い直す ジェンダーの社会化		
第 3 回	ジェンダーとセクシュアリティ② 仕事と家族をめぐる問題		
第 4 回	ジェンダーとセクシュアリティ③ 「セクシュアリティとは」 セクシュアリティとマイノリティ		
第 5 回	ジェンダーとセクシュアリティ④ セクシュアリティと生物学		
第 6 回	ジェンダーとマス・メディア① 女性とメディア研究		
第 7 回	ジェンダーとマス・メディア② ジェンダーとメディア研究		
第 8 回	ジェンダーとマス・メディア③ ジェンダーとメディア研究の課題		
第 9 回	ジェンダーと犯罪報道① ジャーナリズムも女性観		
第 10 回	ジェンダーと犯罪報道② 女性被疑者。女性被害者の報道		
第 11 回	ジェンダーと犯罪報道③ ジェンダーの視点からみる犯罪報道		
第 12 回	ジェンダーと文化① 恋愛と文化資本		
第 13 回	ジェンダーと文化② 結婚制度と恋愛		
第 14 回	ジェンダーと文化③ 恋愛至上主義と「リア充」		
第 15 回	まとめ 日本社会とジェンダー		
教科書・参考書等	講義内に紹介します。		
授業で使用する機器等	配布資料を用意する。配布資料は、iPad で映し出し書き込みながら授業を進行していく。		
予習・復習へのアドバイス	講義内で行ったことは、必ず復習をすること。		
履修上の注意・受講条件等	とくになし		
成績評価の基準等	出席 50% 試験 50%		
メッセージ	講義中の私語、スマホ使用は禁止とします。		
オフィスアワー	メールで対応していきます。質問などは、以下のメールアドレスにご連絡下さい。toki1124yuki@yahoo.co.jp		
その他			